

家で使う
自分で使う

みんなで考える 医療と介護の道具

あなたや家族が使っている医療や介護の道具に
狭い家や部屋では使いづらかったり、
機械に弱い人や子供には操作が難しかったり、
デザインがカッコ悪いから身に付けたくなかったり、
部屋のインテリアが台無しになってしまったり、
がまんして使っている・・・
そんなモノがありませんか？



日時

2020年 1月13日(月・祝)
14:00～16:00

会場

(13:30受付開始)

イオンモール松本 風庭2階

イオンホール (長野県松本市中央4-9-51)

参加
無料

[講義の内容]

- ・ 自宅で使う医療と介護の道具について
- ・ なぜ使いにくい道具が多いのでしょうか
- ・ もしものとき、何を基準に道具を選びますか
- ・ 家族の「困った」をちゃんと気づけますか

イオンモール松本・フロアマップ

2階

晴庭

展望ブリッジ

ノジマ

風庭

楽市楽座

ノジマ

イオンホール

参加ご希望の方は、裏面の申込書にご記入いただくか、
①お名前②年齢③所属機関または市町村名④連絡先を
記載のうえ、FAX・mail・電話にてお申し込み下さい。
当日参加も受け付ける予定です。

【お申込み・お問合せ先】

信州メディカル産業振興会事務局

信州大学 学術研究・産学官連携推進機構 URA室

TEL: 0263-37-3421 FAX: 0263-37-3425

mail: smia@shinshu-u.ac.jp

主催:



協力:



信州リビング・ロボ

入院の短期化などにより、自宅での療養や看護、介護が増えています。


信州メディカル産業振興会では、自宅で患者さんや高齢者、その家族が使う医療や介護の道具にまつわる「困った」を、住民の皆さんのアイデアと、松本地域の企業のものづくりの力で解決する“住民参加型の医工連携ものづくり”をはじめています。

皆さんの「困った」や「こんなものがあたらいいな」というアイデアが、患者さんやその家族に使いやすく、カッコよくて、みんなが元気になれるもの&デザインを創出します。

皆さんの「困った💧」を募集中！

自宅での療養や看護、介護にまつわる「困った」を広く募集しています！今後の開発の参考にさせていただきます。「困った」の応募は、下記フォーム以外の自由書式、メールでも受け付けています。

ご応募いただいた方の中から、抽選で10名にオリジナル図書カード(1,000円)、20名にオリジナルバッジをプレゼントいたします。プレゼントの応募×切：[第1回] 2020年1月10日 [第2回] 2020年2月20日

| | |
|--|---|
| 困っている人 | 例：おばあちゃん、自分 |
| 困っていること 困っているもの | <ul style="list-style-type: none">・自宅での療養や看護・介護などで自分や家族が困っていること・いま使っている医療・介護の道具や機械で困っていること など  |
| 発見者(仮名)・年齢 | 例：おじいちゃん子・28歳 |
| プレゼントを希望される方は、下記に住所と氏名をご記入ください。なお、賞品の発送をもって発表に代えさせていただきます。 | |
| 住所・氏名 | |

※ご応募者からご提供いただきました個人情報については、プレゼントの発送及び本事業のご案内・ご報告以外の目的で使用することはありません。

【皆さんの「困った」の応募先・お問合せ先】

信州メディカル産業振興会事務局

〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号 信州大学 学術研究・産学官連携推進機構内

TEL: 0263-37-3421 (信州大学URA室) FAX: 0263-37-3425 mail: smia@shinshu-u.ac.jp